

Welcome to my house!

お客様のお宅拝見！



キッズパラダイス

浜松市中区 T様邸

浜松市中区の郊外の高台エリア、常緑樹の並木道沿い、白基調に紺色のアクセントが映えるT様邸。「明るく、長く暮らせる家」がコンセプトの住まい。どんな風に仕上がったのでしょうか。

最初にご案内頂いたのは、建物の全幅ほぼすべてを使ったLDKです。二面採光と明るい色調のフローリングと相まって清潔感のある大空間を作りだしています。「大きなLDKにしたのは、子供の動きを全て見渡す為です。遮るものが無ければ、どこで何をしているのか、すぐに分かりますから。」「2階ホールを広めにして、ファミリースペースにしました。今はそこが子供たちの遊び場です。そこで遊んでくれると、リビングへ気配が伝わってくるので都合が良いんです。」と奥様。

住まい作りの思い出を伺うと、「漠然としたイメージが図面になって、それが立体のCGになり、地縄が張られ、そしてそれが本物の家になっていく、その変化は感動的で、ワクワクしました。」とこれまでの振り返り、楽しそうに話してくださいました。

さて、ここからは2階の見学です。この住まいの主役しぶきクンとまほあちゃんに案内してもらいました。2階はホールをファミリースペースとして広めに確保し、このスペースを中核に各個室が配置される構造です。この日は電車の線路が敷かれ、小さな駅長さんが日向ぼっこしながら、列車の安全を監視中です。おませなコンシェルジュさんは、駅ビルの駐車場に駐めるミニカーの入れ替えに余念がありません。今は、子供部屋も個室として利用するのではなく、遊び部屋として活用しており、2階は広大なキッズスペースとなっています。



2F



1F



LDK



LDK

庭

1階に下りて、T様ご夫妻に住み心地をお聞きすると「とても良いです。休日、家で過ごすことが多くなりました。公園に行かなくても、庭や屋内で走り回れますから。家の中ではじっとしておくものという概念が変わりました。」

「お友達も遊びに来てくれる機会が増えました。」「みんな（我が家を見て）『スゴい〜』と言ってくれるのですが、どうも家のことではなく、決断の早さに驚いているみたいなんです（笑）。家の感想をもっと聞かせてくれればいいのに・・・」と奥様。

新築されて変化したことを伺うと「アパート暮らしの頃は、子供の足音やおもちゃの音にも気を張っていなければならず子供に『ダメ』と言うことが多かったのですが、今はご覧の通りで心にゆとりができました。」と奥様。

お子様優先だけど過保護ではない。行動を見守るものの、べったり寄り添わない。取材終了時には、すっかり打ち解けた小さな兄妹をみると、T様夫妻の教育方針と、この住まいに込めた想いが解ったような気がしました。「じゃあネ〜」としぶきクン、まほあちゃんに見送られ、名残惜しく後にしたT様邸でした。



2F 子供部屋の飾り棚



2F ファミリースペース

